

2023年度

社会福祉法人小百合苑 自己評価結果公表シート

1. 小百合苑の教育・保育目標

よく見て、よく聞いて、よく考える子
心身共に健やかな子
思いやりのある心豊かな子

2. 2023年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに 設定した学校評価の具体的な目標や計画

- (1) 社会福祉法人として透明性の高い、地域に受け入れられる法人経営をする
- (2) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領の実践
「主体性」「生きる力」「社会情動スキル」を伸ばすための保育、教育を考える
- (3) こどもまんなか社会の実現に向け、家庭と共に、こどもの一番の利益を考える
- (4) 福祉と教育の分野で地域社会に貢献できるようSDGsな取り組みを進める。
地域の子育ての実情を踏まえ、こどもの居場所づくり、貧困対策を考える
- (5) キャリアアップ研修の受講を支援する
- (6) 心身ともに安心安全な職場作りを目指す
職場内人間関係や、法人内で長く働く事が出来るよう労働環境を整える
- (7) 感染症の予防と拡大防止に努めると共に、職員が疲弊しない配慮をする

3. 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目	理由
共通	労働環境を整える 離職者を出さない 社会貢献	働き方改革とストレス緩和に努めた。物価高騰手当や商業施設の会員権など福利厚生を手厚くした。 社会資源として子育て家庭にアプローチした。 能登地震の募金活動
古川園	・つながり再構築 ・保育のユニバーサルデザイン化・療育連携支援 ・働き方改善	・コロナ明け、SDGsな視点で親子同志や地域の方福祉事業所などの資源とつながり構築に再始動。 ・支援の評価が高く、課題ある家庭の入園希望増加 「すべてのこどもに過ごしやすい」環境の追求。 ・休憩と休暇の取り方の意識改革・スペース確保

柳町園	情報発信	ホームページに園紹介動画。やなぎまつりで市内のショップや飲食店に出店依頼して賑やかに祭りを開催。 LINE で保護者の出欠受付を開始。グーグルフォームで行事参加アンケート受付。保育でICT 特許取得。2歳児オムツサブスク開始。アクアリウムの設置。
	サービス向上	

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

古川園	<ul style="list-style-type: none"> ・こども達の共生力向上。保護者、他児に困り感の理解が広がるよう関わった。 ・古川園の主体性保育の集大成「5歳発表会」の習熟 ・地域貢献イベント「親子でAsoBo」の高評価
柳町園	子ども食堂の再開と子ども服マルシェの開催で社会貢献を行った。行事は生活発表会を生活報告会に変更して開催した。全国から保育見学の受け入れを再開した。学生が就職フェアから採用に繋げて人材確保を行った。5年ぶりにやなぎスタイルを作成。

5. 今後取り組むべき課題

	課 題	具体的な取組方法
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な保育 ・安全確保と非常時の事業継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の倫理観を向上させ、子どもの人権に配慮し保育する。 ・ヒューマンエラーを自覚し、子どもの安全についての意識と、非常時の組織対応力を高める
古川園	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい環境 ・100カ月育て ・ファンづくり ・支援スキル向上 ・働く楽しさ向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを深める環境を目指し子どもも大人も後始末の意識付け ・妊娠期から卒園後までトータルして見守りの視野を広げる ・園内外に古川園への興味関心が高まるよう情報発信。 ・すべての子ども・保護者・職員が「じぶんまる」と感じられるように支援する。 ・古川園で働く楽しさと充実感を高める。世代ごと座談会開催。
柳町園	<p>人材確保 人材育成・保育の質の維持向上</p> <p>今後の課題</p>	<p>離職率ゼロを目指す正職員2名、非常勤2名離職した。</p> <p>次年度はリーダーから中堅クラスの正職員7名が育休で休職となり、新人正職員が5名入職するので、園の体制が大きく変化する。新人の育成とクラス運営の維持、そしてやなぎスタイルの保育の周知と徹底が大きな課題。</p> <p>柳町園の土地の売買契約、プリスガーデンの再開準備および育休復帰枠の確保は次年度以降の課題。</p>

